

平和を求めて
 (32)
 私の町の戦争跡

国木田独歩も愛した
 武蔵野の一角だった地

いまは都心で一番広い
 空をみることが出来る森
 林公園として都民のオア
 シスとなっている代々木
 公園。

一九八六(明治29)
 年当時は、国木田独歩が
 この近くの「渋谷村の小
 さな茅屋」(武蔵野)に
 住み、そのとき日記を
 もとに名作「武蔵野」を
 執筆しました。この地も
 武蔵野の一角で独歩が散
 策し愛した地でした。

この地に代々木練兵場
 がつくられたのは、国木
 田独歩がなくなった翌年



(写真左)
 を建立、こ
 の地への別
 れを惜しみ
 ました。

年(一九二〇明治43
 年)には、練兵場で陸軍
 の航空機のテスト飛行が
 行われました。園内には、
 日本で初めて飛行機がと
 んだことを記念した「日
 本航空発始の碑」(写真
 左下)があります。

練兵場では、一月はじ
 めには陸軍観兵式はここ
 で挙行され、園内には
 「関兵式の松」(写真上)
 がいまも残っています。



い演習の候補
 地にのぼって
 います。

防衛省は二
 〇〇七年度中
 に「ミサイル
 防衛」システ
 ムの地对空誘

の一九〇九(明治42)
 年でした。

いいます。
 練兵場が建設された翌

参宮橋駅前の石柱

立ち退かされた住民が
 「訣別の碑」建立

練兵場をつくるために
 住民は移転を余儀なくさ
 れました。この地への断
 ちがたい思いを込めて去っ
 た住民たちは、代々木八
 幡神社境内に「訣別の碑」



小田急線
 「参宮橋」

駅前(渋谷
 区代々木4
 1付近)に
 は、いまも
 「陸軍省所
 轄地」の石
 柱(写真右
 下)が残さ

練兵場はこのほかに
 日比谷公園に日比谷練兵
 場、東大教養学部に駒場
 練兵場、神宮外苑に青山
 練兵場がありました。

いま、ミサイル誘導弾
 の移動展開訓練計画も

この代々木練兵場も戦
 後は米軍に接収され「ワ
 シントンハイツ」になり、
 一九六四年の東京オリ
 ンピックでは選手村になり
 ました。現在は都内二十
 三区で四番目に広い公園
 ですが、この地も戦争に
 翻弄されました。

代々木公園の地を再び
 戦争に協力させないよう
 声をあげましょう。

陸軍練兵場だった代々木公園
 いま誘導弾ミサイルの移動訓練候補地に

